

月	■ 題 材 名 ● 教 材	時 数	題 材 の 目 標	評 価 の 観 点		
				I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
4	■ 歌詞の内容や曲の雰囲気 を捉えて ● 〈歌唱〉校歌	3	歌詞の内容の意味を知り、曲想と結び付けて表現しようを工夫しよう。」	楽曲に関わる知識、歌唱表現に関わる技能を身につけている	楽曲に関わる知識や歌唱表現に関わる技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
5	■ 曲の形式を生かして● 〈歌唱〉「浜辺の歌」	4	曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。	曲想と形式、歌詞との関わりについて理解し、楽曲に関わる知識、音域や強弱に応じた発声などの技能が身についている。	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式、歌詞との関わり）や技能（音域や強弱に応じた発声）を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
6	■ 曲の形式を生かして● 〈歌唱〉「浜辺の歌」	4	曲想を感じ取り、形式を生かしてふさわしい表現を工夫しよう。	曲想と形式、歌詞との関わりについて理解し、楽曲に関わる知識、音域や強弱に応じた発声などの技能が身についている。	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式、歌詞との関わり）や技能（音域や強弱に応じた発声）を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
7	■ 箏の基本的な奏法を身につけて● 〈器楽〉「琴「さくらさくら」」	3	箏の基本的な奏法を身につけて、演奏表現を工夫しよう。	箏の音色と奏法との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方などの基本的な技能を身につけている。	器楽に関する知識（箏の音色と奏法との関わり）や技能（創意工夫を生かした表現で演奏するための右手の使い方など）を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に対して主体的・協働的に取り組んでいる。
8 ～ 9	■ 曲想と音楽の構成を関わらせて● 〈鑑賞〉「交響曲第5番」	5	ソナタ形式、フーガなどによる曲の構成と曲想を関わらせて味わいながら鑑賞しよう。	楽曲に関わる知識、曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造に関わりについての知識が身についている。	鑑賞に関わる知識（曲想と動機の現れ方、ソナタ形式やフーガの構造に関わり）を得たり生かしたりしながら、音楽のよさを味わって聴き、音楽表現の共通性や固有性について考えている。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考える学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
10	■ リズムの組み合わせによる違いを感じて● 〈創作〉「リズムパターンをつくろう」	4	リズムの組み合わせや反復を工夫し、音符のつなげ方によるリズムの違いを理解して創作しよう。	リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴を理解し、指定された条件に沿って音符をつなげる技能が身についている。	創作に関する知識（リズムの反復や組み合わせによるリズムパターンの特徴）、技能（指定された条件に沿って音符をつなげる）を得たり生かしたりしながら、まとまりのある表現を創意工夫している。	創作に関する知識、技能を得たり生かしたりしながら、まとまりのある表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
11	■ 声部の役割を生かして● 早春譜	3	曲想や声部の役割を感じ取り、それらを生かした表現を工夫しよう	楽曲に関する知識、曲想と形式や歌詞との関わりの知識、曲想や声部の役割を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式や歌詞との関わり）や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
12	■ 音色と奏法の関わりを感じ取って● 〈器楽〉「ギター」	2	器楽の音色と奏法との関わりを理解し、タンギングや左手を使った基本的な奏法を通して表現しよう。	器楽の音色や響きと奏法の関わりを理解し、創意工夫を生かした表情のためのタンギング、左手の運指が身についている。	器楽表現に関わる知識（器楽の音色や響きと奏法の関わり）、技能（左手の運指）を得たり生かしたりしながら、音楽表現を創意工夫している。	器楽表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。。
1	■ 雅楽の背景を理解して表現の特徴を聴き取って● 〈鑑賞〉「雅楽「越天楽」」	3	さまざまな雅楽の共通点や相違点を考え、表現の特徴を捉えて鑑賞しよう。	雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについての知識が身についている。	鑑賞n関わる知識（雅楽の音楽的な特徴とその背景となる文化や歴史との関わり）を得たり生かしたりしながら音楽の良さや美しさを味わって聴き、生活における音楽の意味や役割について考える。	鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら音楽の良さや美しさを味わって聴き、曲や演奏に対する評価と根拠について自分なりに考える学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
2	■ 曲想や声部の役割を感じ取って● 「合唱コンクール各クラス自由曲」	3	曲想や声部の役割を感じ取り、それらを生かした表現を工夫しよう。	楽曲に関する知識、曲想と形式や歌詞との関わりの知識、曲想や声部の役割を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけている。	歌唱表現に関わる知識（曲想と形式や歌詞との関わり）や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。
3	■ 曲想を豊かに感じ取って● 「合唱コンクール各クラス自由曲」	2	曲想を感じ取りながら声部の役割を生かして表現を工夫しよう。	音楽の構造と曲想との関わりの知識、歌詞の内容や全体の響きを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	歌唱表現に関わる知識（音楽の構造と曲想との関わり）や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。	歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、表現を創意工夫する学習に主体的・協働的に取り組んでいる。

<評価方法>
Ⅰ 授業態度、提出物、発言、鑑賞レポートなど Ⅱ 実技テスト、定期考査、鑑賞レポートなど Ⅲ 実技テスト、定期考査など